

上林未来人さん(自然科学研究科材料生産システム専攻・博士前期 1 年)が The 34th International Symposium on Transport Phenomena (ISTP-34)において最優秀学生プレゼンテーション賞を受賞しました。

令和 6 年 11 月 9 日から 11 月 13 日にかけて台湾の桃園コンベンション&エキシビションセンターにて開催された ISTP-34 において、自然科学研究科材料生産システム専攻機械科学コース・博士前期 1 年の上林未来人さんが最優秀学生プレゼンテーション賞を受賞しました。

対象となった発表題目は「Design and Development of lab-scale Solar simulator for Solar Thermal Application(太陽熱応用に向けた実験室規模のソーラーシミュレーターの設計及び開発)」であり、再生可能エネルギーの一つである太陽熱を利用し、クリーンな水素燃料を高効率で製造するために実験室規模の集光型太陽熱システム(ソーラーシミュレーター及び反応器)の設計開発に成功したことを報告しています。本研究は近年注目を集めているカーボンニュートラル実現の鍵となる技術の一つであり、太陽エネルギーを高効率で水素燃料へと転換し、貯蔵・輸送が可能となるため、エネルギー業界に大きな変革をもたらすことが期待されています。

指導教員：自然科学系（工学部）SELVAN BELLAN 准教授

発表題目：「Design and Development of lab-scale Solar simulator for Solar Thermal Application」

